導入編 *Introduction*

YamaSoftPanning

奔流 Honryu

Excel Files エクセルシリーズ

ソフトハンドブック水理計算　*奔流*

お客様各位

拝啓

この度は弊社ヤマソフトプランニング有限会社の製品をお買い求めいただき，まことにありがとうございます。

ヤマソフトプランニングでは，建設分野の優れた業務処理ソフトを皆様にお届けできるよう，研究，開発に努めています。

お手許の製品は，皆様のビジネス環境をさらに快適で豊かなものにするためのツールです。皆様のビジネスの片腕としてご活用いただければ幸いです。

また，ヤマソフトプランニングではユーザーサポートを実施いたしております。解説書「導入編」でご案内致しますので是非ご登録くださいますようお願いいたします。

今後ともヤマソフトプランニングならびに弊社の製品により一層のご愛顧，ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

敬具

ヤマソフトプランニング有限会社

代表取締役　山本　隆

マニュアルの利用方法

マニュアルの構成

導入編
パッケージの内容やサービス体制，「奔流」のセットアップについて解説しています。
操作を行う前に必ずお読みください。

入門編
本プログラムをはじめてお使いになる方を対象に，データ入力から印刷まで順を追って解説しています。

解説編
計算内容及び公式の解説をしています。

例題編
計算例を示しています。

マニュアルの読み方

はじめて「奔流」をお使いになる方
下記の手順で読まれることをお勧めします。

１．導入編　（必ずお読み下さい）
「奔流」シリーズをご使用いただくにあたっての諸事項，セットアップの方法が記載されています。
２．入門編
各アプリケーションプログラムの操作方法を記載しています。
３．計算例　（データ入力例）
インテグレーションＣＤに参考データが保存されています。

マニュアルの表記（マークについて）

解　説　該当操作の機能・役割を解説しています。

操　作　操作の基本的な手順を記しています。

こんなときは　操作中に困ったときの解決方法などを解説しています。

補　足　操作の補足説明や制限事項などを記しています。

注　意　注意事項や制限事項を記しています。

→《導》 P.5　参照ページを示しています。
この場合，導入編マニュアルのP.5をご覧ください。

本書（導入編）の利用方法

「奔流」を動作させる前に必ず本書をお読みください。
本書では，「奔流」をご利用いただくにあたって，確認していただきたいことや準備していただくことについて解説しています。

第１章　動作する前に必ずお読みください。
「奔流」シリーズの各製品に含まれているものやサービス体制について確認してください。また，「奔流」を動作させるために準備していただきたい機器について解説しています。

第２章　セットアップを行ないます。
「奔流」シリーズの各アプリケーションプログラムをハードディスクへインストールする方法。ネットワーク対応版のインストールについて解説しています。

第３章　「奔流」シリーズの起動方法を説明しています。
「奔流」シリーズを使用するための基本的な操作方法を解説しています。

導入編　目次

第１章　ご利用いただくにあたって
- パッケージ内容一覧 4
- ユーザーズ登録のご案内 4
- ソフトウェアライセンス契約 5
- お問い合わせ/ご意見　ご要望書 9
- 破損プログラムディスケット修復申込書 10
- 必要な機器 11

第２章　セットアップ
- 「奔流」アプリケーションプログラムのインストール 12
- 「奔流」アプリケーションプログラムの削除の手順 17
- ネット対応ＵＳＢキードライバ(WIBU-KEY)のインストール 18

第３章　起動
- 「奔流」の起動 23

第４章　ネット版ＵＳＢキー(WIBU-KEY)運用説明
- 「奔流」ネット対応ＵＳＢキー(WIBU-KEY)の概要とヒント 24
- 「奔流」ネット対応ＵＳＢキー(WIBU-KEY)に関するＱ＆Ａ 26
- 起動するためのキー情報調査 28
- VerUp時、追加購入時の作業 30
- USBキーの故障(破損)を確認する方法 34

第１章　ご利用いただくにあたって

パッケージ内容一覧

●ＣＤディスク
「奔流」インテグレーションＣＤ　１枚
「奔流」のセットアップ用プログラムが入っています。

●プロテクトキー
プロテクトキー情報が書き込まれています。大切に取り扱ってください。

USBキーの場合
USBキー本体　１本　（キー情報のみ購入の場合ＵＳＢキー本体は含まれません。
キー情報はメールまたはFDにて送付されます。）
名札　　１枚
名札の製品番号(Serial)は，お持ちの「奔流」に固有の番号です。

FDキーの場合
プロテクトキーディスク（フロッピーディスク）　　１枚
ラベル上の製品番号(Serial)は，お持ちの「奔流」に固有の番号です。

●マニュアル（解説書）本書　　１冊

●ユーザーズ登録依頼書カード（ハガキ）１枚
弊社製品をお買い上げいただいた方に，弊社より直接情報を提供するときに必要なものです。今後のサービス・ご案内は，登録カードに基づいて行います。

以上がパッケージの一覧です。

ヤマソフトプランニングユーザーズ登録のご案内

ヤマソフトプランニングではユーザーサポートシステムを設け，ご登録いただいた皆様にソフトウェアのサポートサービスを行わせていただいております。

ご登録方法
・本冊子に添付のハガキが，”同意書，並びにユーザーズ登録依頼書”となります。必要事項をご記入の上，ご投函ください。
ご送付いただいた時点で，ヤマソフトプランニング有限会社のユーザーとして登録させていただきます。
・登録料などは一切不要です。

サポート
サービス
・お電話によるお問い合わせ
きめ細かなサポートサービスをご提供させていただくために，専任の技術者が製品に関するご質問，ご相談を承ります。
・お手紙，ＦＡＸによるお問い合わせ
お問い合わせ書によるご質問にお答えしております。本冊子内の「お問い合わせ書」をコピーし，ご利用ください。

サポート期間
・同プログラムの新バージョンが発売されてから４年間をサポート期間とさせて頂いております。
（サポート期間を過ぎますとサポート致しかねますので新しいバージョンへのバージョンアップをお勧めします。）

ご注意

同意書(ハガキ)は，次頁のソフトウエアライセンス契約をお読みいただき，ご同意いただいた上でご署名，ご捺印の後，弊社までご送付ください。なお，サポートはユーザーズ登録をされた方のみを対象とさせていただきます。ご登録いただいていない方には上記のようなサービス，サポートはいたしかねますので，ご了承ください。
本製品につきましては，ソフトウェアライセンス契約を設けさせていただいており，お客様が本契約に同意いただけた場合のみ本製品のサポートサービスをご利用いただけます。お手数ではございますが，下記契約をお読みの上，添付のハガキ「同意書・ユーザーズ登録依頼書」を弊社宛ご返送ください。登録させていただいた後，ソフトウェアのサポート，バージョンアップの情報提供サービスを致します。

ソフトウェアライセンス契約

お客様が「プログラム」をダウンロード、導入、複製、アクセスあるいは使用されると、このプログラムのご使用条件（以下「使用条件」といいます）に同意されたものと見なされます。他の個人、会社あるいは法人に代わってこの使用条件に同意される場合は、お客様はそれらの個人、会社あるいは法人にこの使用条件を順守させる全権限を有していることを表明･保証いただくものとします。この使用条件に同意いただけない場合は、お客様は「プログラム」をダウンロード、導入、複製、アクセスまたは使用することなく、かつ
直ちに「プログラム」　をその調達元に返却することにより、これらと引き換えに支払済料金の返金を受けることができます。但し、クーリングオフ期間中に限ります。

「プログラム」とは、プログラムの原本ならびにそのすべての複製物（全体複製か部分複製かを問わない）を含めて、次のものを意味します。1) 機械で読み取りうる形の命令およびデータ、 2) その構成要素、3) 関連するライセンス資料、4) ライセンスキー（USBキー、あるいはフロッピーキーディスク）、5) ソフトサポート利用の権利及び最新版ダウンロード。

「お客様」とは、個人またはひとつの法人を意味します。

この使用条件は、本「プログラム」の使用に関する両当事者間の完全、唯一の合意文書であり、お客様の「プログラム」の使用に関する、事前の両当事者の口頭または書面による通知等のすべてに代わるものです。

【1. お客様の権利】

使用権

「プログラム」は、ヤマソフトプランニング有限会社（以下ヤマソフト）が所有権を有しています。「プログラム」は、著作権により保護されており、使用許諾されるものであって、売買の対象となるものではありません。

ヤマソフトは、お客様が「プログラム」を適法に取得した場合、お客様に対して「プログラム」の非独占的な使用権を許諾します。

お客様がこの「プログラム」を既に取得済みの「プログラム」に対するアップグレードとして取得した場合、そのアップグレード「プログラム」を導入した後は、アップグレード前の「プログラム」を継続的に所有もしくは他人に移転することはできません。アップグレード前の「ライセンスキー」は速やかにヤマソフトまで返却してください。（USBキーの場合はアップグレード前のライセンスキーは上書きされます。）

お客様は、遠隔地からのアクセスを含めて「プログラム」を使用する何人（なんぴと）もが、お客様に認められた使用許諾範囲内でのみ使用し、かつ、この使用条件に定める義務を守るよう適切な措置を講じるものとします。

お客様は、1）この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、結合、配布もしくは送信すること、 2）法律の強行規定のある場合を除き、「プログラム」を逆コンパイル、逆アセンブルもしくは翻案すること、または 3）「プログラム」を再使用許諾、賃貸もしくは貸与することはできません。

お客様がこの使用条件に違反した場合には、ヤマソフト はお客様に対する使用許諾を終了することができます。この場合、お客様は「プログラム」の返却、ならびにそのすべての複製物を速やかに破棄するものとします。

解約可能期間

お客様が、いかなる理由であっても「プログラム」に対して満足いただけず、かつお客様が当初の使用権取得者である場合、納品書（発行されない場合は領収書）の日付から30 日以内に「プログラム」をその調達元に返却することにより、これと引き換えに支払済料金の返金を受けることができます。

「プログラム」の移転

お客様は、「プログラム」およびお客様が「プログラム」を使用する権利ならびにこれに関する義務のすべてを第三者に移転することができます。ただし、この第三者がこの使用条件に同意する場合に限ります。また、この場合、お客様はこの使用条件全て（「プログラム」及び無料サポートを受ける権利） を渡すものとします。移転後は、お客様は「プログラム」を使用することはできません。

【2. 使用料金】

「プログラム」の料金は一時払い料金です（サポート料金も含まれます)。

【3. 保証の内容と制限】

ヤマソフト は、「プログラム」について、お客様が「プログラム」をヤマソフト所定の稼動環境で使用する限り、ヤマソフト所定の仕様に合致することを保証します。かかる保証は、「プログラム」の変更の加えられていない部分についてのみ適用されるものとします。ヤマソフトは、「プログラム」の実行が中断しないこともしくはその実行に誤りがないこと、または、すべての誤りが修正されることを保証しません。「プログラム」の使用結果については、お客様の責任とします。

ヤマソフトは、お客様に対して、既知の「プログラム」の誤り、誤りの修正、制限事項および回避措置に関する情報を含んだユーザー専用コーナーへのアクセスを追加料金無しで提供します。

保証期間中に「プログラム」が保証どおり稼動しない場合で、かつ、ヤマソフト無料サポート、及びヤマソフトホームページユーザー専用コーナーにある情報で問題を解決できない場合には、お客様は、当該「プログラム」 をその調達元（ヤマソフトまたはヤマソフトビジネス・パートナー）に返却することにより、これと引き換えに支払済料金の返金を受けることができます。

以上の保証は、「プログラム」および記憶媒体についての保証のすべてを規定したもので、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任または保証条件に代るものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。この場合の保証も「プログラム」の保証期間内に限定され、当該保証期間終了後は、いかなる保証も適用されません。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証の適用期間の制限が禁じられている場合、強行規定の制限を受けるものとします。

以上の保証は、お客様に一定の法的権利を与えておりますが、国または地域によって異なる場合があります。

【4. 責任の制限】

お客様が ヤマソフトの責に帰すべき事由（契約不履行、過失、不実表示または不法行為などを含みます）に基づく損害に対して救済を求める場合、ヤマソフト の賠償責任は、請求の原因を問わず、次の各号に定めるものに限られます。 1）ヤマソフト の故意もしくは過失によってお客様に生じた身体、生命および有体物に対する賠償責任。 2）お客様に現実に発生した通常かつ直接の損害に対し、損害発生の直接原因となった当該「プログラム」の使用料金相当額を限度とする金銭賠償責任。

本条の責任の制限は、ヤマソフト に「プログラム」を提供した「プログラム」開発者ならびに ヤマソフトビジネス・パートナーに対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は、ヤマソフトおよび「プログラム」開発者ならびに ヤマソフトビジネス・パートナーに対して重複して損害賠償を請求することはできません。

いかなる場合においても、ヤマソフト、「プログラム」開発者および ヤマソフトビジネス・パートナーは、その予見の有無を問わず発生した以下の損害については賠償責任を負いません。

（1.） データの喪失または損傷

（2.） 特別損害、付随的損害、間接損害、およびそのほかの拡大損害

（3.） 逸失利益（ビジネス、収益、信用あるいは節約すべかりし費用を含む）。

国または地域によっては,法律の強行規定により,上記の責任の制限が適用されない場合があります。

【5. その他】

（1.） この使用契約は、消費者保護法規によるお客様の権利を変更するものではありません。

（2.） この使用条件のいずれかの条項が無効または履行強制ができないとされた場合でも、その他の条項は有効に存続するものとします。

（3.） お客様は、関連する輸出入関連法規を順守するものとします。

（4.） お客様は、ヤマソフトがお客様の連絡先情報（名前、電話番号、電子メール・アドレスを含む）を、ヤマソフトが営業を行う地域に保存し使用することに同意されるものとします。かかる情報は ヤマソフトとお客様との取引に関連して管理、使用されるものとし、ヤマソフトの委託先、ビジネス・パートナー、事業継承先に対して、お客様との連絡を含む、それらの一般的事業目的内の用途（例えば、受注処理、販売促進等）のために提供されることがあります。

（5.） この使用条件にもとづく請求権は、請求のいかんにかかわらず、その原因が発生した日から 2 年を経過したときに、時効により消滅するものとします。

（6.） いずれの当事者も、自己の責めに帰すことのできない事由から生じた損害については、責任を負わないものとします。

（7.） この使用条件により第三者に対していかなる訴権あるいは請求権も生じるものではなく、またお客様に対する第三者からの賠償請求について ヤマソフトが責任を負うものではありません。ただし、前述の「責任の制限」条項で認められた、ヤマソフトが法的に責任を有する、身体（生命を含む）、および有体物に対する賠償責任は除きます。

お問い合わせ/ご意見･ご要望書

■製品に関するお問い合わせ，またはご意見をお手紙，ＦＡＸにてお寄せいただくには，この用紙をコピーしてご記入の上，下記へお送りください。

ヤマソフトプランニング有限会社 ユーザーサポート係 行
〒819-0168 福岡県 福岡市 西区 今宿駅前1－21－28
長垂ビーチエクセルⅡ 301号
ＴＥＬ 092-805-1113 ＦＡＸ 092-805-1114
フリーダイヤルTEL 0120-38-0420 FAX 0120-38-0425
電子メールアドレス：torrent@yamasoft.co.jp
ホームページアドレスURL http://www.yamasoft.co.jp/
(月～金, 9:00～12:00/13:00～17:00 祝祭日,弊社休業日を除く 尚,FAXは24時間受付)

■記入日 年 月 日

■貴社名

■部署名

■ご担当者名

■住所 〒

■ＴＥＬ ■ＦＡＸ

■e-mailアドレス：

■製品名

■製品番号 USBキーの名札 又は FDキーのラベルに記載 Serial－

■お問い合わせの要点

破損ＣＤ・キー媒体修復申込書／改訂版解説書申込書

・ディスケットを破損した場合の修復料は１セットにつき

「奔流」インテグレーションＣＤ	１式	￥ 3,000(税別)
スタンドアロン版プロテクトキーディスク(Key-Disk)	１枚	￥ 9,000(税別)
ネットワーク対応版プロテクトキーディスク(Key-Disk)	１枚	¥18,000(税別)
ネットワーク対応版USBキー本体(WIBU-Key)	１本	¥10,000(税別)

USBキー本体は購入から１年間は無料で修復・交換致します。

・改訂版解説書(１プログラム)料金　　￥ 8,000(税別)

別途消費税がかかります。

●申し込み手続き

下記の申込書をコピーしたものをご使用下さい。
申込書に必要事項をお書きいただき，破損ディスケット修復（又は破損USBｷｰ本体修復）申し込みの場合は破損した媒体と一緒に同封して弊社までお送り下さい。料金は，別にお送りする郵便振替用紙にて１週間以内にご入金下さい。

●お願い

送料が着払いでお送りになった場合は，受領できませんのでご了承ください。
登録ハガキ(同意書，並びにユーザーズ登録依頼書)をご返送されていないお客様は，登録ハガキに必要事項を記入し，申込書と破損しているディスケットとを同封してご返送ください。

修復した媒体の返送には受領後，約１週間前後かかりますのでご了承ください。

●ディスケット修復申込書／改訂版解説書申し込み送り先

ヤマソフトプランニング有限会社　サポート係

〒819-0168　福岡市西区今宿駅前1－21－28
長垂ビーチエクセルⅡ 301号
TEL 092－805－1113

修復申込書／改訂版解説書申込書

下記必要事項を記入してください。

製品名　　製品番号(Serial)

貴会社名

ご担当者名

連絡先 住所

TEL　　FAX

品名	数量	合計金額
□「奔流」インテグレーションＣＤ □ＵＳＢキー本体 □プロテクトキーディスク(Key-Disk) □改訂版解説書		

必要な機器

コンピュータ本体

「奔流」は, PC/AT互換(DOS/V)機で下記の条件を満たすパーソナルコンピュータで動作します。（700MHz以上推奨）

・ネットワーク対応ＵＳＢキーサーバー　　：Windows2000/XP/Vista/7
・　　―　　〃　　―　　クライアント　：Windows2000/XP/Vista/7
・ＦＤスタンドアロン版　　：Windows2000/XP/Vista/7

メモリ

「奔流」を動作するためには最低64MBのメモリが必要です。
本体に装備されているメモリが64MBに足りない場合は，メモリを増設する必要があります。メモリを増設するには，不足メモリを補うメモリチップあるいは増設ラムボードが必要です。取り付け方法は，各機種・ＲＡＭボードにより異なりますので，増設ＲＡＭボードに付属の取扱説明書・本体マニュアルにしたがってください。

ＵＳＢポート

ＵＳＢキー版であればＵＳＢポートが必要です。※ｽﾀﾝﾄﾞｱﾛﾝ版の場合は不要です。

フロッピーディスクドライブ

ＦＤスタンドアロン版はプロテクトキーディスク認識のため 3.5インチ２HD(1.44MBタイプ）が読み取り可能なドライブ１基が必要です。※ＵＳＢキーの場合は不要です。

ＣＤ－ＲＯＭドライブ

セットアップのためＣＤ－ＲＯＭドライブが必要です。

ハードディスクドライブ

「奔流」のプログラムファイルなどを転送します。(空き容量３０ＭＢ以上が必要)

キーボード

キーを押すことによって，数値の入力や「奔流」への指示を行います。

ディスプレイ

「奔流」の入力案内，各種表，入力数値，出力数値が，画面上に映し出されます。
800×600ﾄﾞｯﾄ以上表示可能なグラフィックス機能が必要です。

プリンタ

計算結果画面のハードコピーや計算書の打ち出しに使用します。Windows2000/XP/Vistaに対応したプリンタが必要です。

「奔流」(プロテクトキーディスク又はUSBキー)

お買い上げいただいたディスク(又はUSBキー)です。

注　意　機器を扱う上で次の点に注意してください

●本体の電源スイッチ
「奔流」動作中は，絶対に本体の電源スイッチをOFFにしないでください。

●本体のリセットスイッチ
「奔流」が動作中は押さないで下さい。計算中のデータが失われます。

第２章　セットアップ

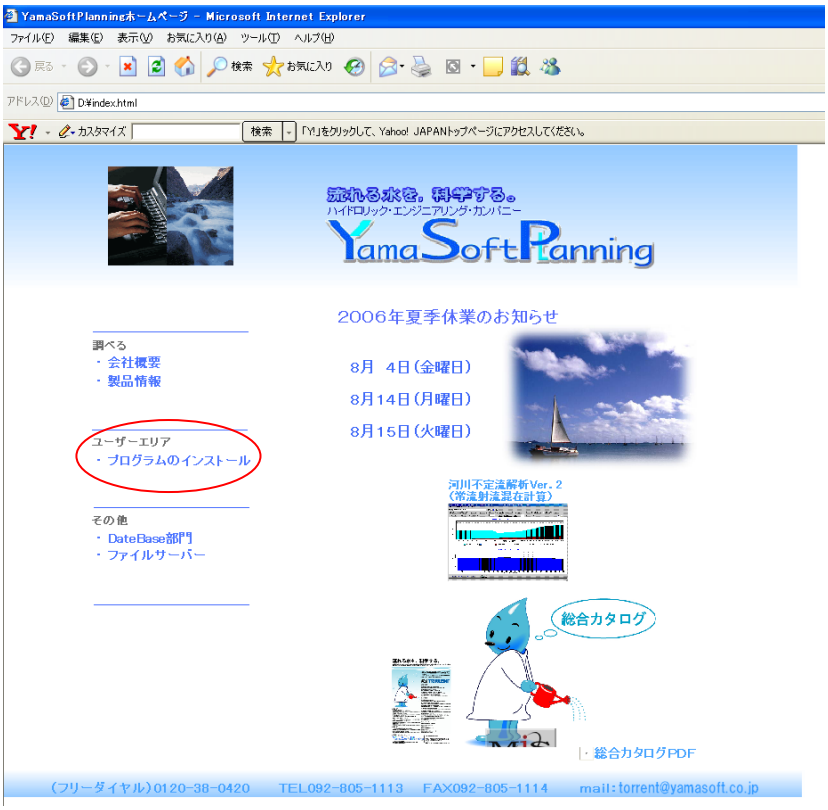
注　意　ＯＳは，Windows2000/XP/Vista/7のいずれかがセットアップされているという前提で説明しています。Windows2000/XP/Vista/7のセットアップ等の操作の詳細については，Windows2000/XP/Vista/7添付のマニュアルをご覧下さい。

●「奔流」アプリケーションプログラムのインストール

注　意　各自のパーソナルコンピュータにインストールしてください。
ネットワーク対応版ですとアプリケーションサーバーにインストールし各クライアントが同じプログラムを使用する方法もとれますが、計算スピードやデータベースの共有などの問題がありますので各自のパーソナルコンピュータにインストールして起動することをお勧めします。

操　作　１．ＣＤ-ＲＯＭドライブに**インテグレーション**ＣＤをセットします。

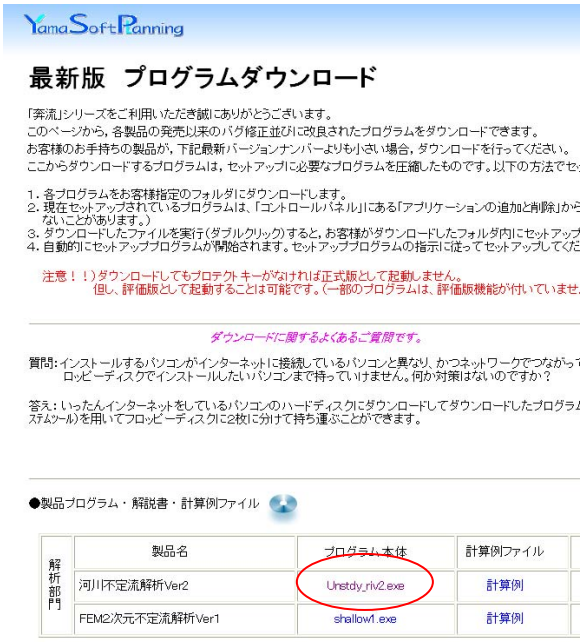
２．画面に下のページが表示されます。
画面上の“プログラムのインストール”の文字をマウスでクリックすると“最新版プログラムダウンロード”ページが表示されます。



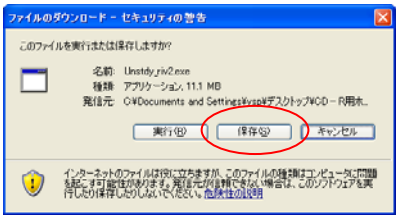
補　足　CD-ROMドライブにインテグレーションＣＤをセットし自動起動しない場合は，マイコンピューター内にあるCD-ROMドライブを直接右クリックし、“開く“をクリックし、index.htmlファイルを開いて下さい。

３．“プログラムダウンロード”ページが表示されましたら、ダウンロードしたいソフト名のプログラム本体名をマウスでクリックします。

※以下では「河川不定流解析Ver.２」をインストールする場合の操作です。インストールしたいソフトにおきかえてお進み下さい。



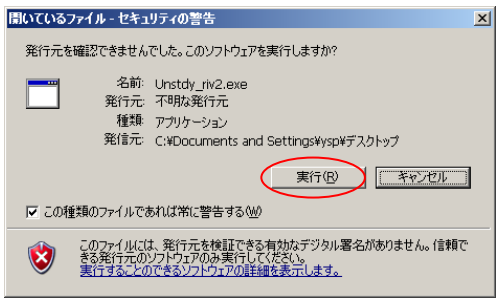
４．[保存] ボタンをクリックします。



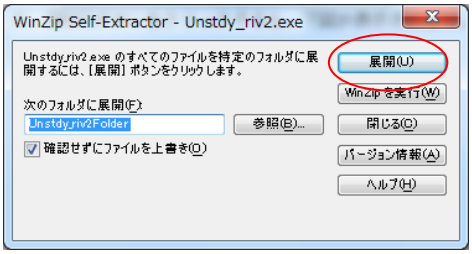
保存場所を指定します。
（ここでは保存場所を仮にデスクトップとします）

５．保存したexeファイルをクリックします。

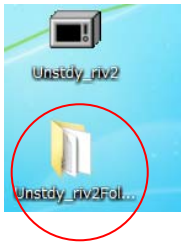
下図が表示されますので実行を選択して下さい。

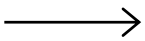


6．下図が表示され[展開]ボタンをクリックすると先程exeファイルを保存した場所にフォルダが展開されます。

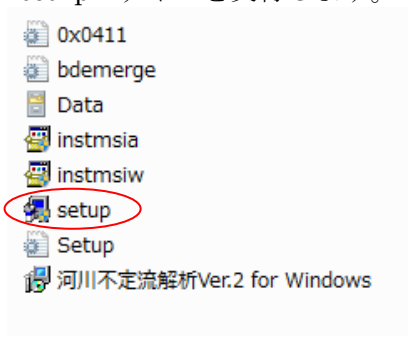


7．展開されたフォルダを開き

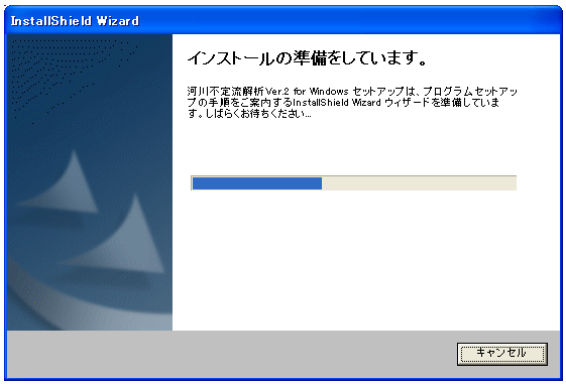




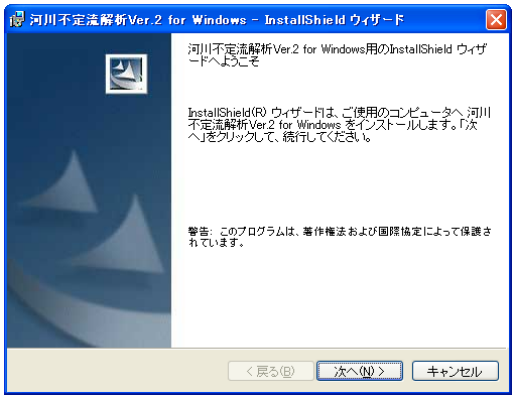
setupファイルを実行します。



インストールが開始されます。

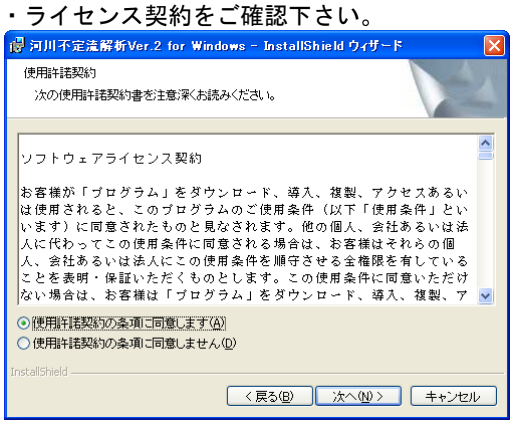


8．上図が表示されしばらくすると，画面全体に下図が表示されます。画面に表示される指示に従って操作します。

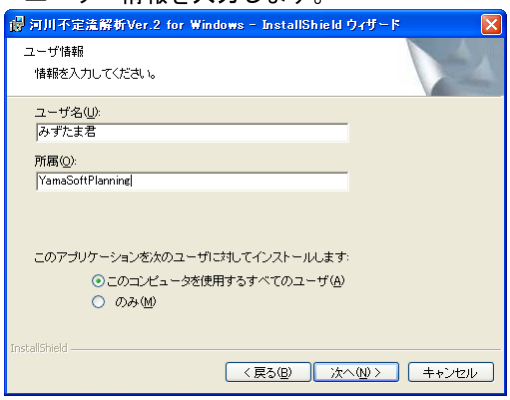


９．下図に列挙されている。項目に沿って操作して下さい。

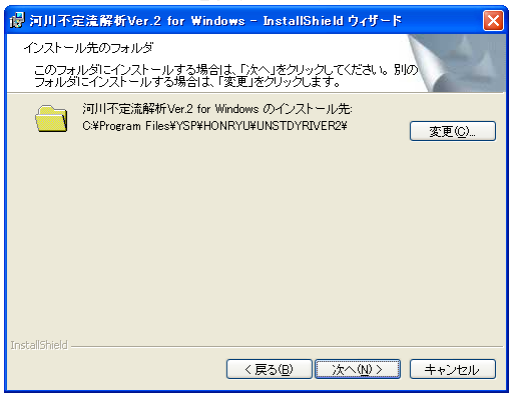
・ライセンス契約をご確認下さい。



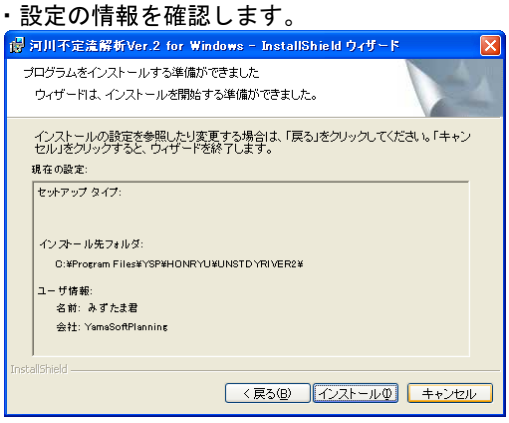
・ユーザー情報を入力します。



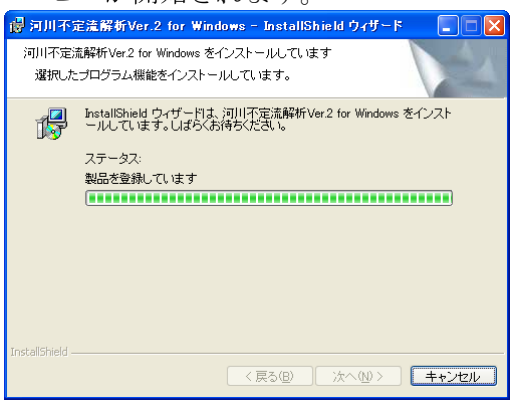
・インストール先を指定します。



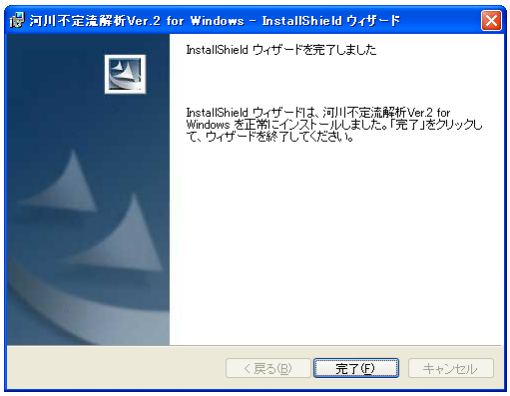
・設定の情報を確認します。



１０．コピーが開始されます。



１１．完了。

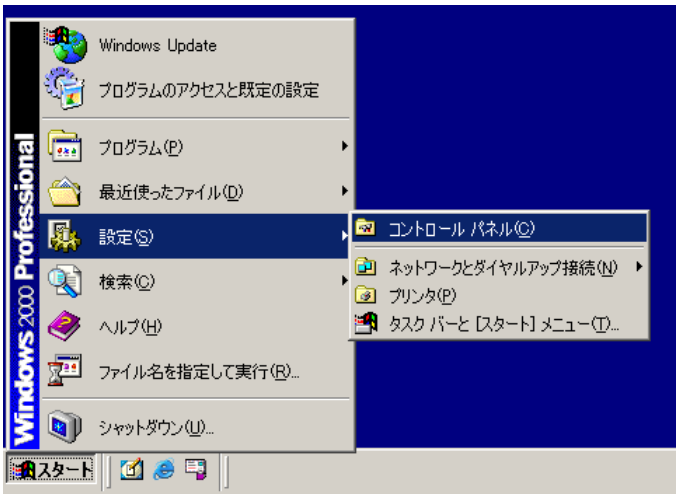


[ｽﾀｰﾄ]ボタンをクリックし，[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ]をポイントし，「奔流」内にインストールしたソフトが表示されていれば，セットアップは完了しています。

● 「奔流」アプリケーションプログラムの削除

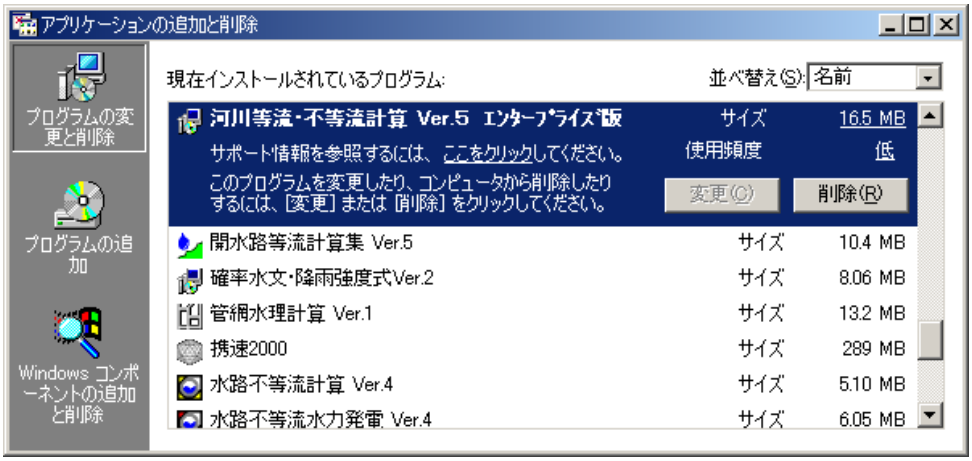
操　作

1．[ｽﾀｰﾄ]ボタンをクリックし，[設定]をポイントします。ついで，コントロールパネルをクリックします。



2．[ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

3．下図の表示で，[河川等流・不等流計算Ver.5]を選択し，[追加と削除]をクリックします。画面に表示される指示に従って操作します。



● ネット対応ＵＳＢキードライバ（WIBU-KEY）のインストール

注　　意

ＦＤスタンドアロン版ご使用のお客様は，本インストール作業は不要ですのでＩ－17からＩ－22は読み飛ばし第３章へお進み下さい。

サーバーとクライアントの両方にインストールが必要！

●サーバーパソコンにドライバをインストールする場合

手順　※重要

①下記のインストール操作でサーバーとなるパソコンにドライバをインストール
②USB本体をサーバーとなるパソコンに差し込む

①と②を逆にするとUSB本体を正確に認識できません。その際は「奔流」ネット対応USBキー(WIBU-KEY)に関するQ&Aをご覧下さい。

USBキーを差し込む前にドライバをインストールしておかなければなりません。

ｲﾝｽﾄｰﾙ操作

１．ＣＤ-ＲＯＭドライブに**インテグレーションＣＤ**をセットします。
(前述のアプリケーションプログラムのインストールから引き続き行う場合，この操作は省きます。)トップページが表示されます。

※サーバードライバをインストールする前にWIBU-KEYをUSBポートにセットしないで下さい。

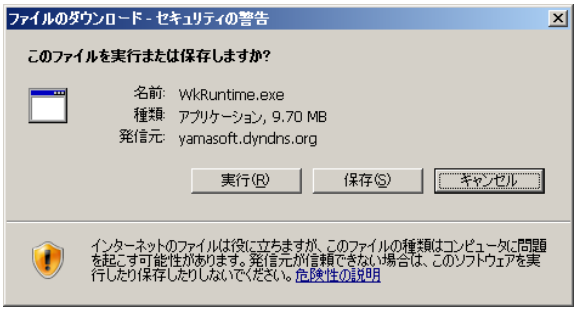
２．画面上の[プログラムインストール]の文字をマウスでクリックして“最新版　プログラムのダウンロード”ページを表示させ、ページの一番下にあるプロテクトユニット　“［ｻｰﾊﾞｰ用］ NET対応USBｷｰﾄﾞﾗｲﾊﾞ（WIBU-KEY）”のプログラム本体名をマウスでクリックします。

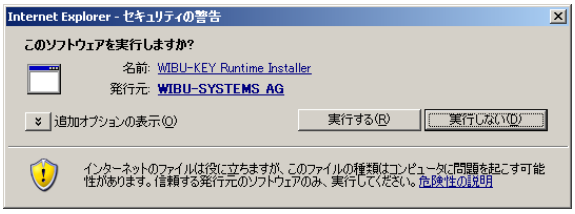
●ﾌﾟﾛﾃｸﾄ ﾕﾆｯﾄ

ユニット名	プログラム本体	解説書PDF	更新日	最新Ver.No.
「奔流」ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾃｸﾄGT	Networkgt.exe	－	2002/09/09	－
[サーバー・クライアント兼用] NET対応USBキードライバ（WIBU-KEY）	WkRuntime.exe	解説書	2007/05/31	5．20a

（フリーダイヤル）0120-38-0420　TEL092-805-1113　FAX092-805-1114　mail:torrent@yamasoft.co.jp　home

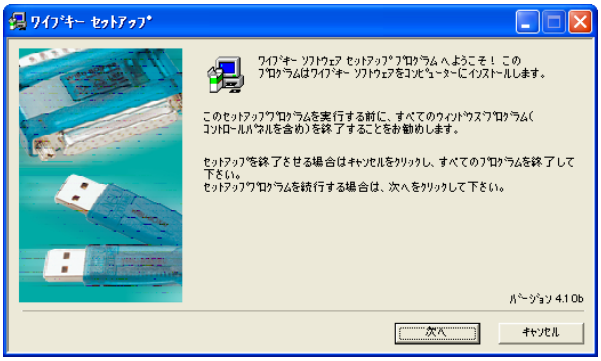
３．実行をクリックします。





４．下図が表示されインストールが開始されます。

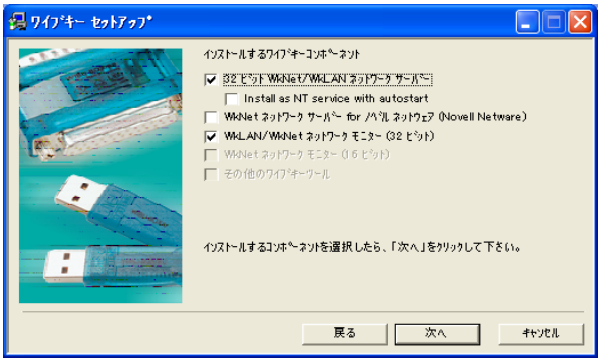
５．画面全体に下図が表示されます。表示される指示に従って操作します。



６．下図に列挙されている。項目に沿って操作して下さい。

・使用する言語を選択します。そのまま“次へ“をクリックして下さい。

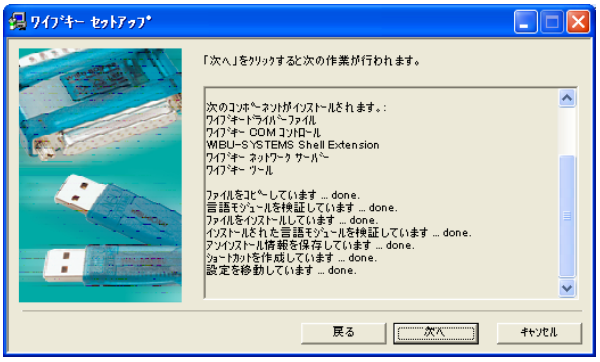
・そのまま“次へ“をクリックして下さい。（既存のチェックのまま）



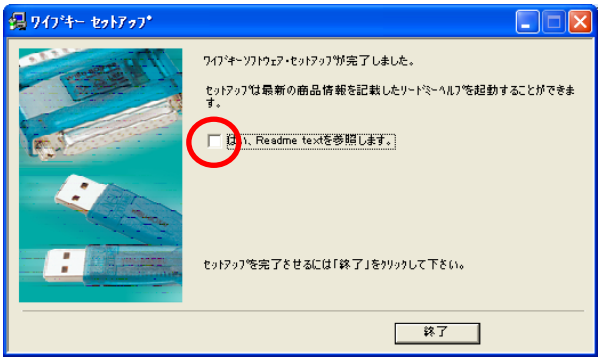
ＵＳＢキー本体を装着していないパソコンでは、左記の32ビットWkNet/WkLANネットワーク　サーバーのチェックを外して運用することもできます。

・そのまま“次へ“をクリックして下さい。

・インストールが完了すると下図の画面になります。さらに、そのまま“次へ“をクリックして下さい。



・ReadMeのチェックボックスのチェックをはずし、“終了“をクリックして終了して下さい。



これでUSBキーを使用するためのドライバーやユーティリティーがインストールされました。以下のファイルやプログラムが追加されています。

プログラム ― WIBU-KEY ┬ サーバーモニタ
　　（トラブル時の調査プログラム）
　　├ ネットワーク サーバー
　　（USBキー本体を挿入しているネットワークサーバーマシンは起動しておく必要があります）
　　└ ワイブキー ヘルプ
　　（上記プログラムの説明書，但しEnglish）

設定　―　コントロールパネル　―　ワイブキー

USBキーを使用して「奔流」各ソフトを起動させるには，WIBU-KEYネットワークサーバーを起動する必要があります。その手順については次の項目で示します。

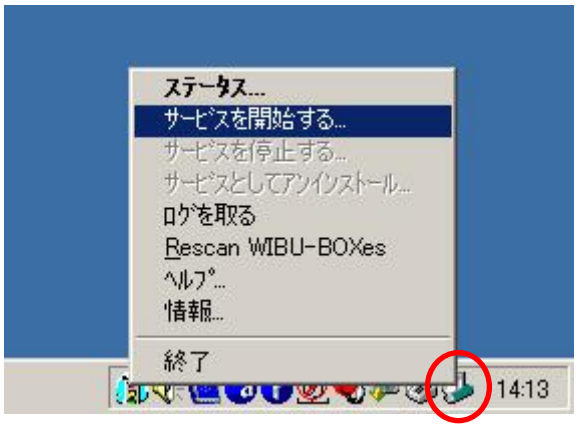
７．ＵＳＢ本体をパソコンに差し込みます。
初めてＵＳＢキー本体をパソコンに差し込むとドライバーを自動でインストールしますのでそのときの指示に従ってインストールして下さい。

８．次に「ネットワークサーバー」プログラムを起動します。
[スタート]ボタンをクリックし，[プログラム]をポイントします。次に，[WIBU-KEY]をポイントし，[ネットワークサーバー]をクリックしネットワークサーバーを起動します。起動すると画面右下のバーに図１のように表示されていればネットワークサーバーが正常に起動していることになります。

図１

９．サービスを開始します。
図１の丸内のアイコンを右クリックすると図２のメニューが開きます。「サービスを開始する」をクリックしてネットワークサーバーを起動します。

図２



※一度、ネットワークサーバーを起動すると次からパソコンの電源を入れ直しても自動的に起動します。
ネットワークサーバーが起動しない場合は、項目８と項目９の作業をもう一度行って下さい。

注　意

ＵＳＢ本体をパソコンに差し込む作業と「ネットワークサーバー」プログラムを起動させる作業の順番を逆にすると認識できないことがありますので、間違えないようにして下さい。必ずＵＳＢ本体を差し込み、プログラムを起動して下さい。

●クライアントパソコンにドライバをインストールする場合

インストール操作

1．ＣＤ－ＲＯＭドライブにインテグレーションＣＤをセットします。（前述のアプリケーションプログラムのインストールから引き続き行う場合、この操作は省きます。）トップページが表示されます。

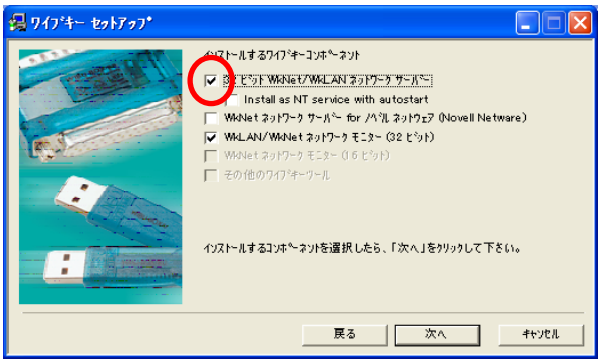
2．画面上の[プログラムインストール]の文字をマウスでクリックして“最新版　プログラムダウンロード”ページを表示させ、ページの一番下にあるプロテクトユニット　“[サーバークライアント兼用] NET対応USBキードライバ（WIBU-KEY)”のプログラム本体名をマウスでクリックします。

●プロテクトユニット

ユニット名	プログラム本体	解説書PDF	更新日	最新Ver.No.
「奔流」ネットワークプロテクトGT	Networkgt.exe	－	2002/09/09	－
[サーバー・クライアント兼用] NET対応USBキードライバ（WIBU-KEY）	WkRuntime.exe	解説書	2007/05/31	5．20a

（フリーダイヤル）0120-38-0420　TEL092-805-1113　FAX092-805-1114　mail:torrent@yamasoft.co.jp　ho

以降の手順３から６まではサーバーパソコンにインストールする場合と同じです。
手順６でネットワークサーバーのチェックをはずして下さい。



第３章　起動

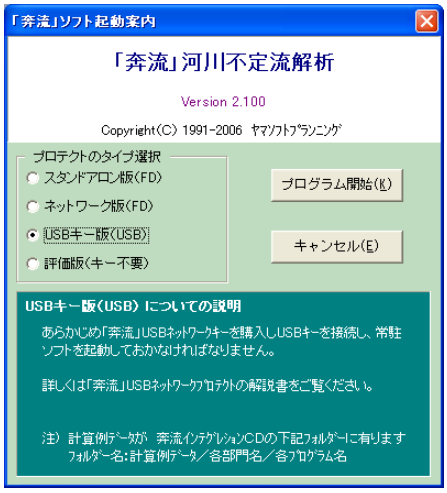
セットアップが終了した後の「奔流」の起動方法を説明します。

注　意　以下で記述される製品名は，『河川等流・不等流計算Ver.5』で記述されています。お買い求めいただきました製品名として作業をお進め下さい。

●「奔流」の起動

操　作　１．Windows2000/XP/Vistaを起動します。

２．[ｽﾀｰﾄ]ボタンをクリックし，[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ]をポイントします。次に，[「奔流」(ほんりゅう)]をポイントし，[河川等流・不等流計算 Ver.5【ｴﾝﾀｰﾌﾟﾗｲｽﾞ版】]をクリックすると下図の[「奔流」ソフト起動案内]ボックスが表示されます。
お客様所有の製品のプロテクトタイプを選択し，[プログラム開始(K)]ボタンをクリックしてください。
ＦＤスタンドアロン版の場合，プロテクトキーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し，[ＯＫ]をクリックすると「奔流」が起動します。
ＵＳＢキー版の場合は[ＯＫ]をクリックする前に、ＬＡＮ上にあるパソコンにＵＳＢキー本体を差し込み「ネットワークサーバー」プログラムを起動していることが必要です。（詳細はについては「２章　セットアップ」ネット版USBキードライバ(WIBU-KEY)のインストールをご覧下さい）



ネットワーク版(FD)は現在販売しておりません。

３．メイン画面が表示されたら，「入門編」を参照してください。

注　意
・フロッピーディスクは，アクセス中には抜き差ししないで下さい。
・起動時には，プロテクトキーディスクが必要となります。いったん起動したならプロテクトキーディスクは，抜いてもかまいません。
・起動時に，プロテクトキーディスクではない他のディスクを挿入していた場合，ディスクの確認に時間がかかります
・ＵＳＢキーはWindowsNTでは使用できません。しかし、別のWindowsにキーを差し込みクライアントとして使用することはできます。

第４章　ネット対応ＵＳＢキー(WIBU-KEY)運用説明

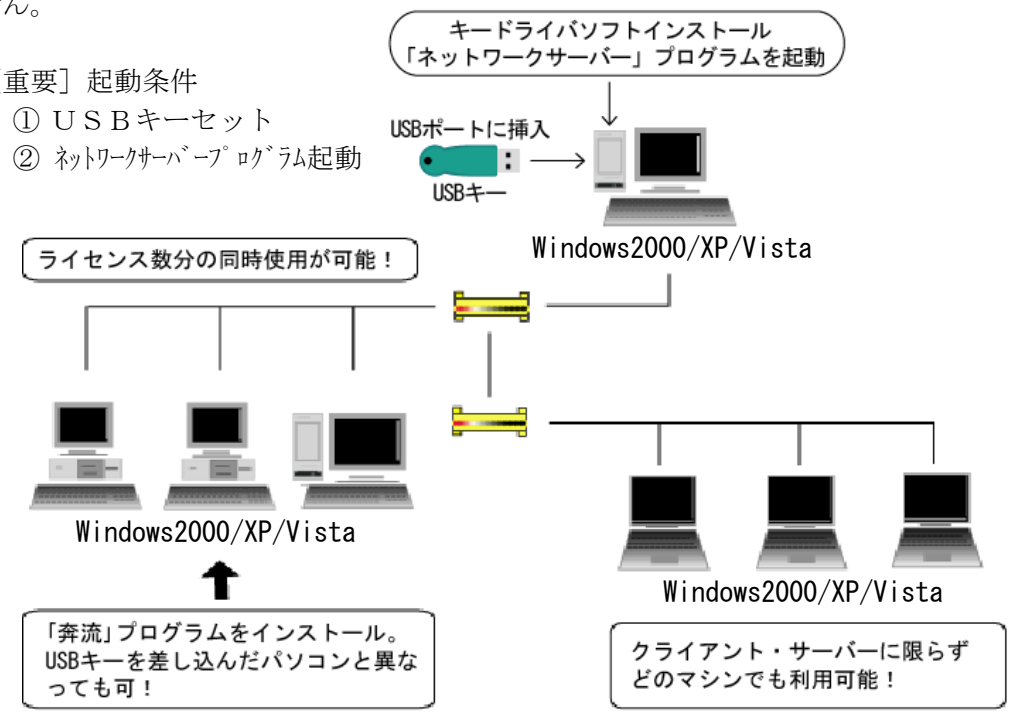
ＦＤスタンドアロン版のお客様は、本運用説明は不用です。
複数ライセンスに対応したネットワーク用プロテクト。ヤマソフトプランニング「奔流」シリーズ製品のネットワークプロテクトでの利用環境を提供します。プロテクトサーバを活用した「奔流」プログラム製品の集中管理が実現できます。

●「奔流」ネット対応USBキー(WIBU-KEY)の概要とヒント

■ 内容

ネット対応USBキー(WIBU-KEY)は，ＬＡＮに対応するプロテクトシステムです。Windows,2000,XP,Vistaを利用したＬＡＮ環境があれば，その他の特別な設備は必要ありません。

［重要］起動条件
① ＵＳＢキーセット
② ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾊﾞｰﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ起動



※ネットワークに接続せず１台のマシンのみで使用する場合もキードライバソフトのインストールが必要です。

図は，ネット対応ＵＳＢキー(WIBU-KEY)をつかった簡単な例です。
USBキー本体は，ＬＡＮ上の任意のWindows2000/XP/VistaをＯＳとするマシンに差し込み「ネットワークサーバー」プログラムを起動します。
これで他のマシンからもキー情報を参照できるようになります。但し、同時に利用可能なクライアント数には制限があり、ＵＳＢプログラム認識キーの数によります。（ＵＳＢ本体の数ではない）１ライセンスにつき１クライアントが利用可能です。

※ネットワークサーバーは、複数台が起動していても問題ありません。ノートパソコンにネットワークサーバーをインストールしＵＳＢキーをセット後、外部に持ち出して使用することもできます。帰社後、本来のネットワークサーバ機にＵＳＢキーを戻します。（紛失に注意して下さい。I-4 参照）

■ 対応ＯＳ

クライアントマシン：Windows2000/XP/Vista
サーバーマシン：Windows2000/XP/Vista

■ 対象プログラム

「奔流」Windows版シリーズ最新Ver版全プログラム

■ プロテクトシステム の概要

USBキーによるプロテクトを使用するためにはドライバ情報と幾つかのユーティリティーをインストールする必要があります。（インストールについては「２章　セットアップ」ネット版USBキードライバ(WIBU-KEY)のインストールをご覧下さい）
インストールの後、USBキー本体をネットワーク上の任意のWindows2000/XP/Vistaマシンに差し込みます。その後キー本体を差し込んだパソコンで「ネットワークサーバー」プログラムを起動することによってプロテクトサーバーシステムが構築されます。
プロテクトサーバー上のキー情報は，利用可能なクライアント数の範囲内で任意のクライアントから参照することができるようになります。

ネットワークサーバーとして使用可能なマシン
ネットワークサーバー（つまりUSBキー本体を差し込み、「ネットワークサーバー」プログラムを起動させクライアントを管理するマシン）は，ネットワークを構築するサーバーマシン本体でなくても構いません。
ネットワーク上のWindows2000/XP/Vistaマシンであればどのマシンであってもサーバーとして使用することができます。 但しWindowsNTはUSBキーのサーバーとすることができません。ご注意下さい。

■ プロテクトシステム の価格

ＵＳＢキー本体（１本）　　￥２０，０００．－（税別）
ＵＳＢプログラム認識キー（１ヶ）　￥１０，０００．－（税別）

■ 納入形態

ネットワーク対応版とスタンドアロン版共通のアプリケーションプログラム並びにネット版ＵＳＢキードライバが入っているＣＤ－Ｒ　１枚
ＵＳＢキー本体　１本

■ 価格事例と取り扱い事例

１．「新規ご購入時」
プロテクトキーオプションで「ＬＡＮ対応ＵＳＢ版」をご指定を頂ければ，従来のスタンドアロン版の価格に
　ＵＳＢ本体（１本）　　￥２０，０００
　プログラム認識キー（１ヶ）　￥１０，０００
を付加したネットワーク対応版価格で販売致します。
２．複数のプログラムをＬＡＮ対応ＵＳＢ版にした場合
ＵＳＢ本体は複数のプログラム認識キーを入れることができます。よってソフトごとにＵＳＢ本体を購入しなくてすみますのでお得です。
例えば３種類のプログラムを１つのＵＳＢ本体に登録すると¥20,000+¥10,000×3=¥50,000となります。
３．「ネット対応USBキー(WIBU-KEY)」が破損したら
購入日より１年間は無料で修復・交換致します。１年を過ぎましたら１本につき

￥１０，０００ －（税別）で交換いたします。
尚、USBキー本体に登録しているキー情報の修復に１ライセンス¥10,000(税別)必要になります。

４．レンタル行為、転貸、譲渡
「ネット版USBキー(WIBU-KEY)」は，第３者への無償あるいは，有償のレンタル行為，転貸，譲渡はできません。

●「奔流」ネット対応USBキー(WIBU-KEY)に関するQ&A

ネットワークに関する代表的なQ&Aを幾つか掲載しています。このほかにも当社ホームページのQ&Aにはネットワークに関する情報が載せられていますのでご参考になさってください。
(http://www.yamasoft.co.jp/)

Q:「奔流」ネット対応USBキー版でソフトが起動できません。どうすればいいですか？

A:下記の点をチェックして下さい。

1.「ネット対応 USB キードライバ(WIBU-KEY)」をインストールしていますか？
USBキー本体をパソコンに差し込んだだけではソフトは起動しません。差し込む前に幾つかの手順がありますので指示に従ってセットして下さい。(詳しくは「2章　セットアップ」ネット版 USB キードライバ(WIBU-KEY)のインストール)をご覧下さい)

2.「ネットワークサーバー」プログラムは起動していますか？
USB キードライブをインストールし USB キー本体をパソコンに差し込んだとしても「ネットワークサーバー」プログラムを起動していなければ「奔流」ソフトは起動しません。まず「ネットワークサーバー」が USB 本体を差し込んでいるパソコンで起動しているか確認して下さい。詳しくは「2章　セットアップ」ネット版 USB ｷｰﾄﾞﾗｲﾊﾞ (WIBU-KEY)のインストール)をご覧下さい。

3. 起動するためのキー情報がありますか？
すでに別のユーザー(他のパソコン)によって「奔流」ソフトを起動し起動するためのキー情報が無いことはありませんか？　すでに誰かがキー情報を使っているかどうか、またどのパソコンによって使用されているかを確認するには、USB本体を差し込んでいるパソコンから[ｽﾀｰﾄ]-[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ]-[WIBU-KEY]-[ｻｰﾊﾞｰﾓﾆﾀ]をクリックし WkSvMon ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを起動させることで確認できます。そのソフトのツールバーに歯車の絵が着いた「Browse Network」ボタンがあります。このボタンをクリックするとスキャンが始まり現在の状況を確認できます。詳しくは「<u>●起動するためのキー情報調査</u>」をご覧下さい。

4. USBキーを差し込む順番は正しいですか？
正しい順番は、まずUSBキーを差し込み、次にネットワークサーバーソフトを起動します。この順番が逆になったり、USBキーを一度抜いて又差し込んだ場合などは正しく認識しないことがあります。

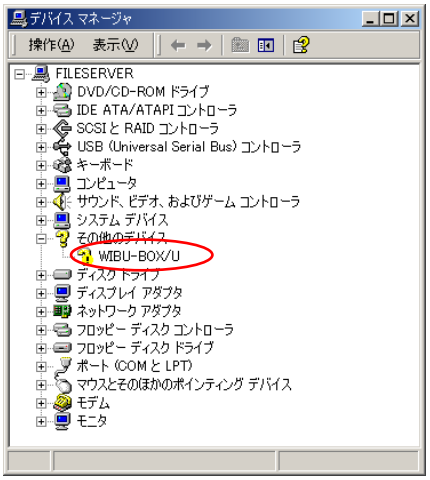
Q:VerUpや追加購入でUSBキー本体は以前のを使用しキー情報のみ購入した場合はどうすればいいですか？

A:USB キー本体を YSP に送り返す必要はありません。お手持ちの USB キー本体に新しいｷｰ情報を上書きするだけで更新できます。詳しくは「VerUp 時、追加購入時の作業」をご覧下さい。

Q:WIBU-KEY を USB ポートに挿入しても認識してくれません。

A:WIBU-KEY を USB ポートに挿入する前にサーバー用 USB ドライバーをインストールする必要があります。

ドライバをインストールする前にWIBU-KEY をUSBポートに先に挿入し、その後ドライバーをインストールしても正しく認識しないことがあります。
（下図のようにデバイスマネージャに“？”マークが出ていれば正しく認識できていません。）



(参考)
[ｽﾀｰﾄ] － [設定] － [ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ] － [ｼｽﾃﾑ]を選択していただくと[ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]が表示されますので[ﾊｰﾄﾞｳｪｱ]タブ内の[ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ]というボタンを選択して下さい。

その際には一度 WIBU-KEY ドライバーをプログラムの追加と削除で削除し、WIBU-KEY を USB ポートに挿入していない状況でドライバーのインストールを行って下さい。
その後 WIBU-KEY を挿入して下さい。キーインストール方法については「2章　セットアップ」ネット版 USB キードライバ(WIBU-KEY)のインストール）をご覧下さい。

Q:すでに WIBU-KEY を使った別の会社のソフトを使用しています。一緒に使用してよいのでしょうか？

A:はい大丈夫です。ドライバー関係をすでにインストールしている場合でも、当社のマニュアル通りインストールを続行して下さい。

Q:すでに WIBU-KEY を使った別の会社のソフトを使用しています。他社のソフトは起動するのですがYSPのソフトは起動しません。

A:他社の WIBU-KEY を抜いて YSP の WIBU-KEY だけ挿入しソフトを起動してみて下さい。その際に WIBU-KEY を挿入後にネットワークサーバーを起動し、その後当社ソフトを起動して下さい。正常に起動できれば他社の WIBU-KEY を挿入し、その後ネットワークサーバーを起動してご利用下さい。

●起動するためのキー情報調査(起動できなかった時に参照して下さい)

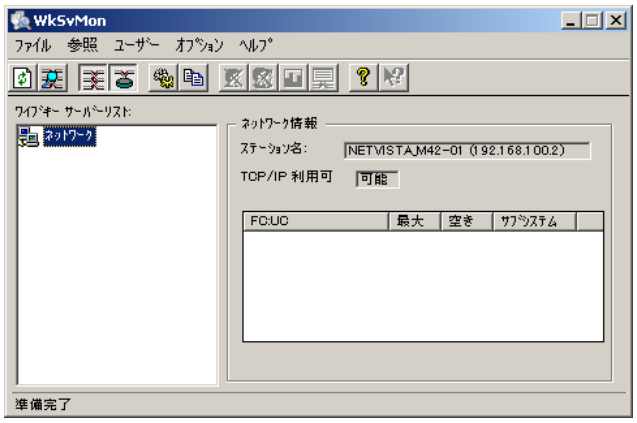
サーバー用ネット対応ＵＳＢキードライバ(WIBU-KEY) をインストールすると幾つかのファイルまたはプログラムが使用できるようになります。以下にそのファイルの説明をします。

【プログラムフォルダ】にできるプログラム

[ｽﾀｰﾄ]ボタンをクリックし，[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ]をポイントすると［WIBU-KEY］ができています。さらにそこにカーソルを持って行きポイントすると、**ｻｰﾊﾞｰﾓﾆﾀ、ﾈｯﾄﾜｰｸ ｻｰﾊﾞｰ、ﾜｲﾌﾞｷｰﾍﾙﾌﾟ** の３つのファイル(またはプログラム)ができます。

ｻｰﾊﾞｰﾓﾆﾀ

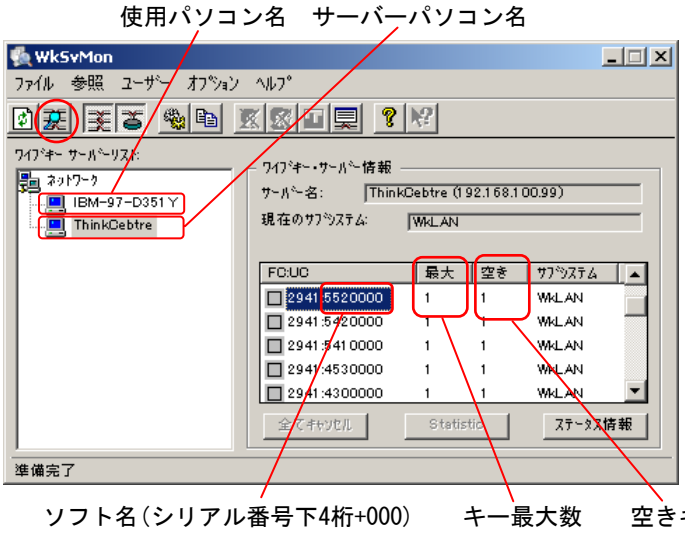
[ｽﾀｰﾄ]-[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ]-[WIBU-KEY]-[ｻｰﾊﾞｰﾓﾆﾀ]をクリックすると下図のWkSvMonプログラムが起動します。



このプログラムはUSBキーの状態を確認することができ、現在誰がどの「奔流」ソフトを起動しているかを知ることができます。以下に、よく使用するボタンの説明をします。

Brows Networkボタン

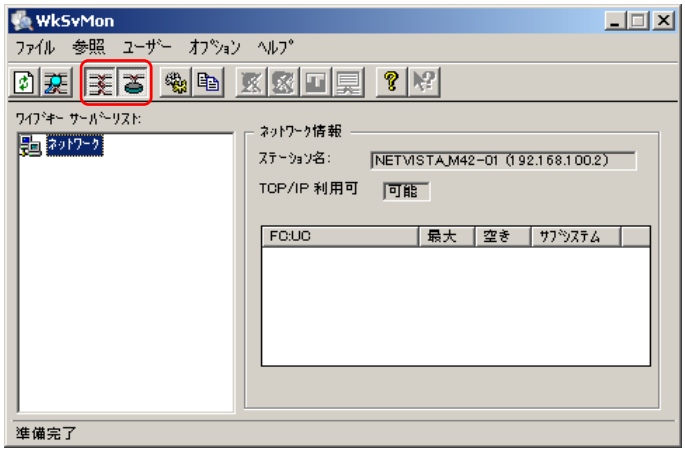
クリックするとﾈｯﾄﾜｰｸのスキャンが始まり、USBキーの状態を表示します。どのパソコンで現在使用しているか、どのソフトのキーをいくつ持っているかなどが分かります。（「参照－クラスタービュー」にチェックが入っていることをご確認下さい）
※但しネットワークサーバーが起動していないと表示されません。



上図の状況はパソコン名「IBM-97-D351Y」がソフト名「河川等流不等流計算　エンタープライズ版　Ver5」(シリアル下４桁+000の数字5520000より確認ができる)を立ち上げており、サーバーパソコンは「ThinkCebtre」であること、そしてキー情報は１つ有り、現在使用できるキーは１であることが分かります。

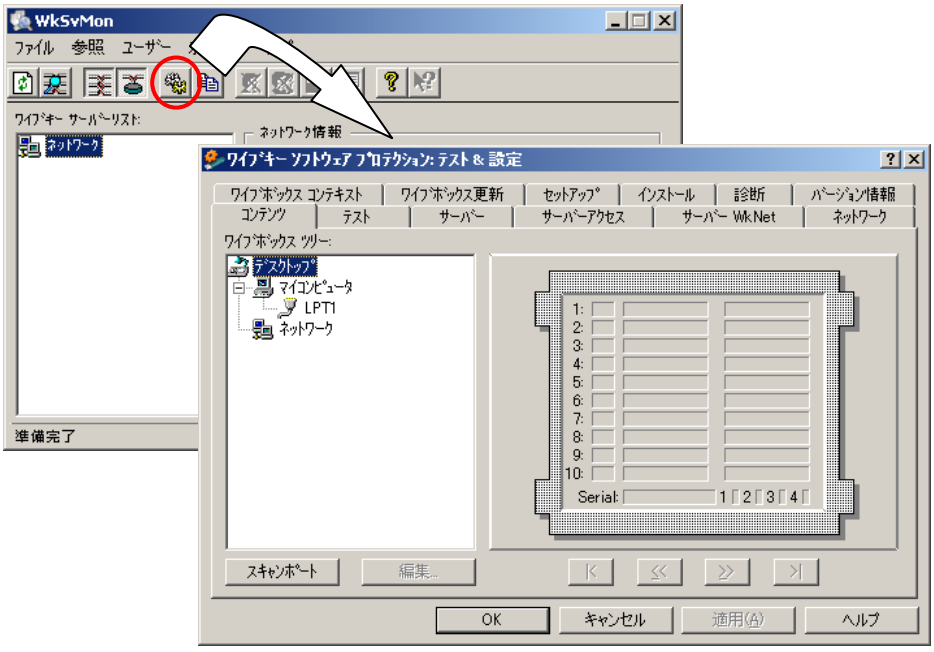
WkLANボタン　：　 Wk Netボタン

このボタンは初期値のままボタンが押された状態にして下さい。USBキーを認識できなくなります。



Control Panelボタン

クリックすると下図の[ワイブキー ソフトウェア プロテクション テスト & 設定]ソフトが起動します。このソフトにより将来の「奔流」ソフトバージョンアップ時やキー情報追加などの処理をUSBキー本体を当社に送ることなく簡単に行うことができます。（詳しくは「ＵＳＢキー本体にキー情報の追加をする場合」をご覧下さい。）



ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾊﾞｰが起動していなくてもキーの情報を見ることが出来ます。

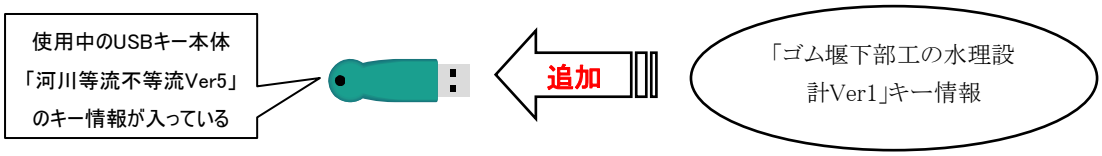
●VerUp時、追加購入時の作業

ＵＳＢ本体購入時は不用な説明です。
ＵＳＢキー本体へプログラム認識キー情報を後から追加（書き込み）することができます。（キー情報は有料です）その場合の手順を説明します。

【こんな場合に必要な作業です】

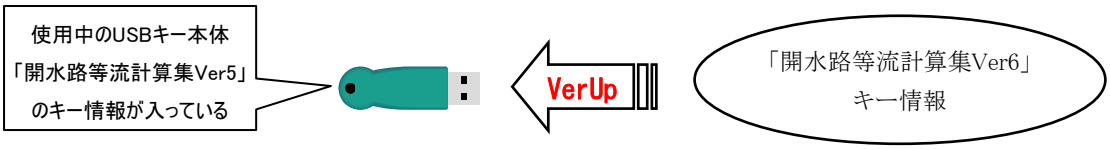
ケース１

ＵＳＢキー本体に「河川不等流計算Ver５」のプログラム認識キー入れて使用していたが、今度「ゴム堰下部工の水理設計Ver1」のプログラム認識キーを同じＵＳＢキー本体に入れて使用したい。



ケース２

ＵＳＢキー本体に「開水路等流計算集Ver５」のプログラム認識キー入れて使用していたが、今度「開水路等流計算集Ver５」が「Ver６」に変わる。それでバージョンアップをしたい。

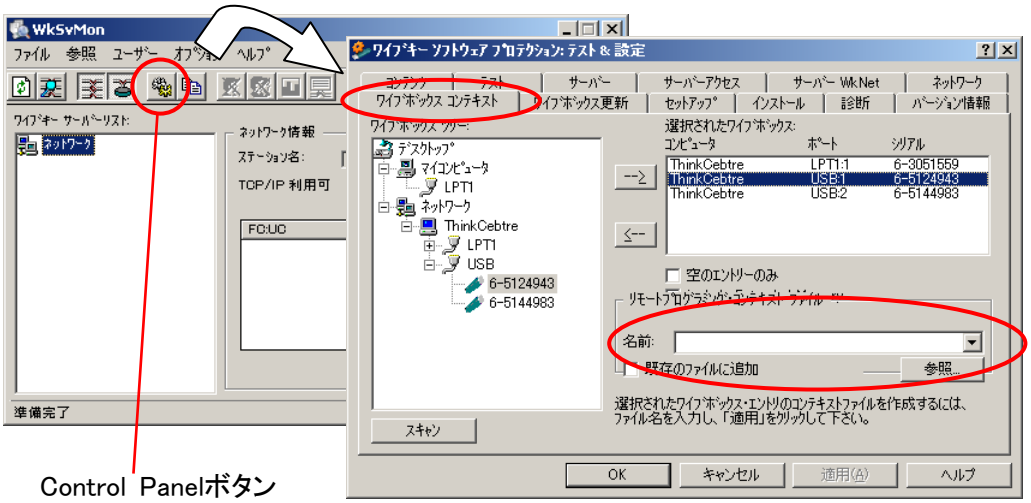


【必要な作業手順】

準備：ＵＳＢキー本体が差し込まれているパソコンで作業します。ＵＳＢキーを差し込んだ状態で作業します。

手順１：ＵＳＢキー情報をﾔﾏｿﾌﾄﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ（有）に送る

［ｽﾀｰﾄ］-［ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ］-［WIBU-KEY］-［ｻｰﾊﾞｰﾓﾆﾀ］をクリックしWkSvMonプログラムを起動します。その中の［Control Panel］ボタンをクリックし［ワイブキー ソフトウェア プロテクション テスト ＆ 設定］ソフトを起動します。



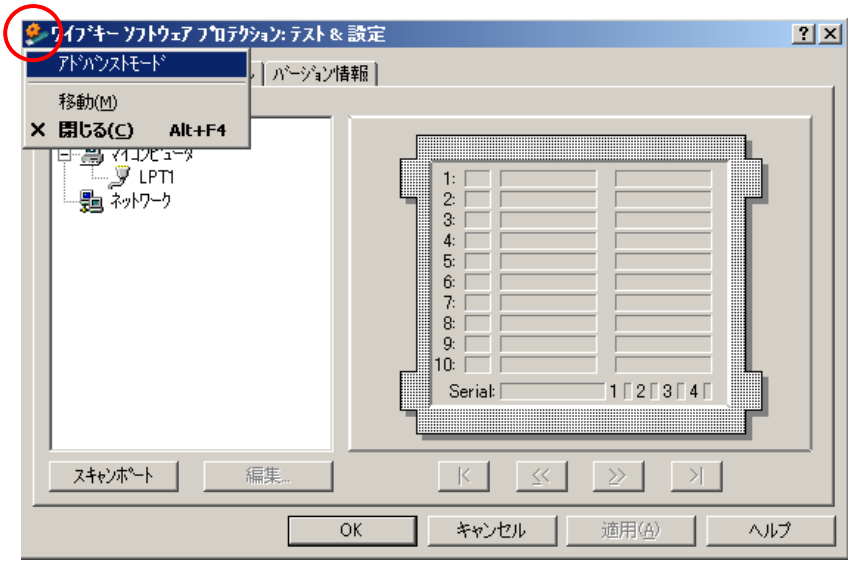
［ワイブボックス コンテキスト］タブを開きます。リモートプログラミング・コンテキスト・ファイルでUSBキー情報を取り出し、一旦ハードディスクに保存します。

以下の手順で作業して下さい。まず名前の項目に適当な任意のファイル名を入力します。拡張子は入力する必要はありません。参照をクリックすると初期値（wibukey.rtc）ファイルが出ますのでこのファイル名をそのまま使用してもかまいません。ファイル名を入力する時に保存先のフォルダも入力して下さい。例えば“c:¥wibukey.rtc”などのように設定できます。

入力後、“ＯＫ”をクリックすると現在装着されているＵＳＢキーの情報を取り入れた XXXX.rtc　ファイルが作成されます。（XXXX は任意のファイル名）拡張子は自動的に“ＲＴＣ”になります。

次にこの作成されたファイルをヤマソフトプランニング有限会社の「ＵＳＢキーサポート係（torrent@yamasoft.co.jp）」にＥメール（添付ファイル）で送ります。

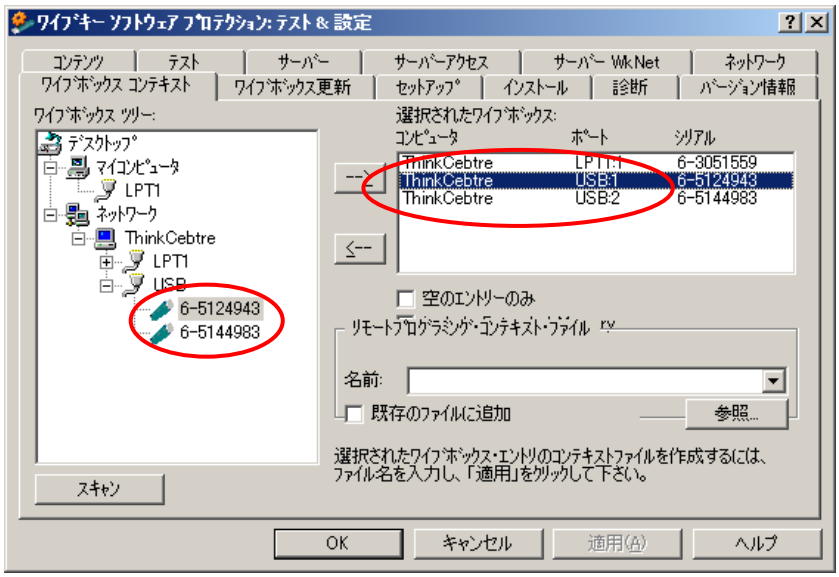
注　意　**[ワイブキー ソフトウェア プロテクション テスト & 設定]ソフト起動じに[ワイブボックス コンテキスト]タブのあるページが表示されない場合があります。**



[ワイブキー ソフトウェア プロテクション テスト & 設定]**ソフト起動じに、上のページ**が表示される場合があります。

その場合、**上のページ**左端にあるロゴをクリックするとメニューが表示されますのでその中の　アドバンスモード　を選択すると[ワイブボックス コンテキスト]タブのあるページが表示されます。

注　　意　他社製のワイブキーをご使用の場合



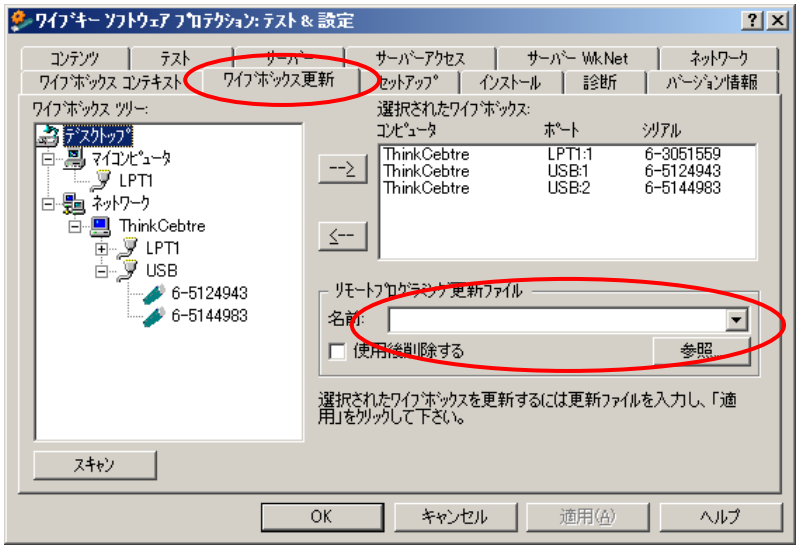
rtcファイル作成時に、他社製のワイブキーをご使用の場合、そのまま出力すると、他社ソフトを含め、そのパソコンに刺さっているすべてのＵＳＢ情報も同時に出力されてしまいます。
[スタート]－[プログラム]－[Wibu-Key]-[サーバーモニタ]を起動し、ワイブボックスコンテキストタブを表示させて下さい。（上図参照）
中央部の右矢印、左矢印にて、出力するＵＳＢ本体を選択できるようになっていますのでＹＳＰのＵＳＢキー本体のみを選択、ファイル出力するようにしてください。
そうすれば、貴社の所有ソフト情報が外部に出ることはありません。
もちろん上記の操作をせずＵＳＢ情報を送信なさった場合でも当社は細心の注意をもって管理致しますので当社外に情報が出ることはありません。

手順２：ﾔﾏｿﾌﾄﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ（有）から届いたファイルでＵＳＢキーを更新する

数日後にヤマソフトプランニング有限会社の「ＵＳＢキーサポート係」からＥメールで更新ファイルが届きます。ファイル名はそちらから送った名前に拡張子が“ＲＴＵ”のファイルとなります。（貴社が送ったファイル時の拡張子と異なります）届きましたら以下の手順で作業して下さい。（以下の説明ではファイル名が“wibukey.rtu”と仮定しています）

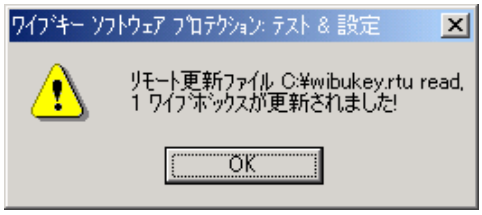
Ｅメールの添付ファイルでお送りした“wibukey.rtu”ファイルを適当な場所に保存して下さい。例えば“c:¥ wibukey.rtu”などの場所に保存します。

ＵＳＢキーを差し込んだ状態で[ｽﾀｰﾄ]-[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ]-[WIBU-KEY]-［ｻｰﾊﾞｰﾓﾆﾀ]をクリックしWkSvMonプログラムを起動し、その中の[Control Panel]ボタンをクリックし[ワイブキー ソフトウェア プロテクション テスト ＆ 設定]ソフトを起動します。そして［ワイブボックス更新］タブを開きます。



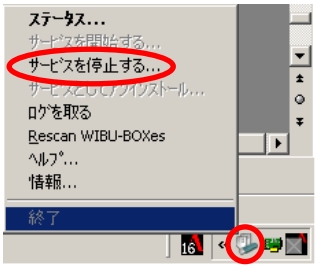
［リモートプログラミング 更新ファイル]部にこちらからお送りしたファイル名を指定し「適用」または「ＯＫ」をクリックします。参照ボタンを使用してファイルを指定すると簡単に設定できます。

次の画面が出た時点でＵＳＢキーの更新が完了です。



※一度使用したリモートプログラミング更新ファイルは２度使用することはできません。
すなわち、入手した更新ファイルを使って何度もUSBキーを更新することはできません！

ＵＳＢキーの更新完了の後、ネットワークサーバーのサービスを停止して開始し直す必要があります。
まずは、画面右下にあるネットワークサーバーのロゴ の上で右クリックします。
右図のようなメニューが表示されますので”サービスを停止する ”を選択します。
（ネットワークサーバーのロゴ がタスクバーから消えます。）
その後、[ｽﾀｰﾄ]-[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ]-[WIBU-KEY]-［ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾊﾞｰ］を選択していただくと再度、画面右下にあるネットワークサーバーのロゴ が表示されます。
ロゴ の上で右クリックして”サービスを開始する ”を選択して下さい。

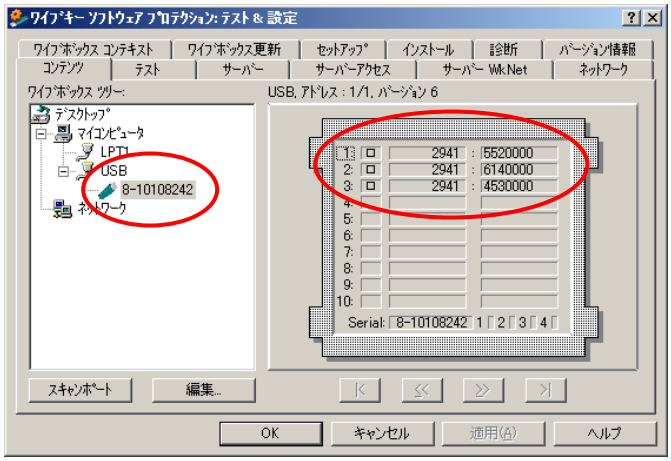


●ＵＳＢキーの故障（破損）を確認する方法

※事前にＵＳＢキードライバ(WIBU-KEY)をＵＳＢをセットするパソコンにインストールして下さい。

Windows2000/XP

スタート／設定／コントロールパネル／ワイブキー／
ワイブボックスツリー／ＵＳＢ
正常であれば下図の○内にＵＳＢキー情報が、表示されます。
下図の場合は、３つのキー情報が入っています。



WindowsVistaの場合

スタート／コントロールパネル／クラシック表示／ワイブキー／
ワイブボックスツリー／ＵＳＢ
となります。
尚、WindowsVistaの場合、ワイブキーサーバーがサービスで稼働していない状態で
サーバーモニターを起動するとエラーメッセージが表示されますのでご注意下さい。

※上記の方法によりＵＳＢキー情報が表示されない場合、ご連絡下さい。